

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,377	t-CO <sub>2</sub>
（温室効果ガス削減換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	③メタン		t-CO <sub>2</sub>
	④一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑧三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		4,377	t-CO <sub>2</sub>

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度	
温室効果ガス総排出量	4,186	t-CO <sub>2</sub>	4,060	t-CO <sub>2</sub>	4,377	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）			3.0	%	▲ 4.6	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度	
原単位当たりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位当たりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

近年の記録的な猛暑を受け、空調設備の稼働負荷が増大し、それに伴い使用電力量も増加傾向があったため。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。  
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。  
 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。  
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進/照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用時間外は消灯を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スタッフへ左記内容を伝達し、施設全体で取り組む</li> <li>・チェックリストを設け消し忘れ等を防止する</li> </ul>	後方通路などでは従業員の通行が多い場所のみ点灯し、それ以外の場所は消灯し必要な時だけ点灯する。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機器の熱交換機フィン、ファン洗浄を実施する。</li> <li>・使用環境に合わせて随時、温度設定を変更する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄に関しては年間計画を立てて、計画的に実施する。</li> <li>・空調に関しては、館内温度をチェックしながら調整する。</li> </ul>	熱交換機フィン・ファン洗浄は計画的に行い、設備担当者が温度計測を行いながら温度設定を行っている。
省エネルギー・省資源の推進/その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しない時間帯および退社時の不必要機器の電源オフを徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スタッフへ左記内容を伝達し、施設全体で取り組む</li> <li>・チェックリストを設け消し忘れ等を防止する</li> </ul>	館内照明は閉店後必要最低限の点灯としている。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	38.6	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO <sub>2</sub>

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日
---

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<p>①グリーン購入の推進 ②年に1回のスタッフ向けISO教育の実施。</p>
---

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<p>①後方エレベーターの間引き運転</p>
------------------------